

特集

議会と行政

力を合わせて新型コロナ対策

―コロナに負けない勝山!!―



市議会議長 松山 信裕

新型コロナウイルスが世界中に広まり、その感染拡大により、誰もがいつ感染をしてもおかしくない事態になり、勝山市も感染防止、地域対策に追われました。県内でも多くの感染者が出ましたが、勝山市においてこれまでに1人も出なかったことは市民の皆様のご協力の賜物であると、議会を代表して心より感謝申し上げます。

勝山市議会としては、3月に策定した勝山市議会における災害発生時等の対応要領に基づき、4月早々に県内でも一早く「災害対策支援本部」を立ち上げました。

緊急事態においては、スピードを重視し、市民の皆様の要望などを取り上げ、的確に対応策を講じることが第一です。そのような中、本来なら議決を要する「かつやまっ子元氣応援臨時交付金」などを専決処分として認め、また議会からの提案により高校生以上の支援策として「特別貸与奨学金」制度枠の創設や、議員が自ら身を切ることも提案し、期末手当を20%カットして支援金とすることも決めました。

今後は、コロナ後の経済のことなども視野に入れながら、勝山市の将来に向けて頑張っ参ります。よろしくお願い申し上げます。

期末手当20%削減を決定！

未来の勝山市を支える”赤ちゃん”に 希望を託して 10万円支給！

5月の臨時会におきまして、市議会議員と市三役の令和2年6月支給の期末手当を20%減額することを決定しました。その財源の活用方法についてはさまざまな議論を重ね、国の特別定額給付金を受け取ることができなかった4月28日以降令和3年3月31日までに生まれた赤ちゃんなどに1人あたり10万円を支給することとしました。

支給手続きの方法など、詳しくは市役所総務課（☎88-1116）にお問い合わせください。



市議会では、勝山市議会災害対策支援本部を設置し、新型コロナウイルス感染症対策に関する議論を交わし、市に対してさまざまな意見や提案を行いました。